

No.	事務事業名	資源ごみ中間処理・保管事業				所属部	生活環境部	
						所属課	環境衛生課	
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	西 剛
	施策名	0	3	循環型社会の形成			所属G(係)	廃棄物対策G
	基本事業名	0	1	リサイクル等の推進			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	容器包装リサイクル法
	一般	0	4	0	3	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区の一般家庭等から排出・回収された資源ごみ(紙類を除く)の中間処理・保管業務を民間業者(国分隼人衛生公社)に委託する。 (中間処理・保管施設):天降川リサイクルセンター 平成19年度取扱量 缶類:419 t、びん類:824 t、ペットボトル:251 t、その他プラスチック類:417 t、有害ごみ:42 t、廃食用油:44 t						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 9 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事務事業概要と同じ		ア	排出・回収された資源ごみ(紙類を除く)の量
			t / 年
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区から排出・回収される資源ごみ(紙類を除く)		名称	
		単位	
		ア	排出・回収される資源ごみの量
			t / 年
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
効率的かつ適正に中間処理・保管が行われる。		名称	
		単位	
		ア	中間処理された資源ごみ量/回収された資源ごみ量
			%
		イ	益金(市の歳入)
			千円
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
・適切に分別を行う		名称	
・リサイクルされる		単位	
		ア	資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	69,590	67,716	67,716		
	事業費計(A)	千円	69,590	67,716	67,716			
活動指標		ア t / 年	1,996	1,997	1,998	1,990	1,985	1,980
		イ						
		ウ						
対象指標		ア t / 年	1,996	1,997	1,998	1,990	1,985	1,980
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	100	100	100	100	100	100
		イ 千円	34,055	47,843	40,000	40,000	40,000	40,000
		ウ						
上位成果指標		ア %	88.7	91.3	90.0	90.0	90.0	90.0
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別・リサイクル等開始され、天降川リサイクルセンターに委託することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により、溝辺地区の資源ごみが新たに搬入・処理されるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	資源ごみ中間処理・保管事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 資源ごみの中間処理等が適正に行われることは、リサイクル及び資源の有効活用並びに循環型社会の形成に寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 一般廃棄物の適正処理、再資源化等は自治体(市)の責務であり、資源ごみのリサイクルや資源の有効活用が円滑に行われるという点からも妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 資源ごみの適正処理ということで、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 資源ごみの中間処理・保管業務が適正かつ効率的に実施されており、リサイクル及び資源の有効活用に寄与している。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 容器リサイクル法に基づく資源ごみの適正処理・リサイクル等を推進する上で支障がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業もない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は全て、随意契約による委託料で、合併前の方法を踏襲しており委託料算定基準等の見直しによる削減余地はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 委託事業につき削減余地がない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 対象が資源ごみにつき、公平・公正であり、受益者負担の事務事業には該当しない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	資源ごみの中間処理・保管業務が適正かつ効率的に行われており、資源ごみのリサイクル及び資源の有効活用に寄与している。事業費は、すべて随意契約による委託料であるが、委託料の算定方法が必ずしも明確でないので、基準等を設けるなどして事業費の適正化による効率性の改善を図る必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 随意契約における委託料(事業費)の算定方法(基準・根拠等)が必ずしも明確でないので、一定の基準を設けるなど、委託料の適正化を図る。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・庁内関係課(財政課等)との協議・調整が必要。 ・委託先である(株)国分準人衛生公社の理解を得る必要がある。

No.	事務事業名				分別基準適合物再商品化事業	所属部	生活環境部	
						所属課	環境衛生課	
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	西 剛
	施策名	0	3	循環型社会の形成			所属G(係)	廃棄物対策G
	基本事業名	0	1	リサイクル等の推進			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	容器包装リサイクル法
	一般	0	4	0	3	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
容器包装リサイクル法に基づき、国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区から排出・回収されたの分別基準適合物(紙類を除く)の再商品化を(財)容器包装リサイクル協会(以下「容リ協」)に委託する。 横川・牧園地区は伊佐北始良環境管理組合に委託している。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 9 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) 分別基準適合物として、びん類:782t、ペットボトル:242t、その他プラスチック製容器:420t 計、1444tを再商品化(リサイクル)した。 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区の一般家庭等から回収される資源ごみ分別基準適合物(紙類を除く)。 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的かつ適正に中間処理・保管が行われる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 再商品化(リサイクル)により資源の保護や有効活用が図られる。 (基本事業の意図) ・適切に分別を行う ・リサイクルされる		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 再商品化された分別基準適合物</td> <td>t / 年</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 回収された分別基準適合物の量</td> <td>t / 年</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 再商品化量 / 分別基準適合物の量</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 益金(市の歳入)</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 再商品化された分別基準適合物	t / 年	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 回収された分別基準適合物の量	t / 年	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 再商品化量 / 分別基準適合物の量	%	イ 益金(市の歳入)	千円	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 再商品化された分別基準適合物	t / 年																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 回収された分別基準適合物の量	t / 年																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 再商品化量 / 分別基準適合物の量	%																																								
イ 益金(市の歳入)	千円																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,450	1,756	1,752		
	事業費計(A)	千円	2,450	1,756	1,752			
活動指標		ア t / 年	1,436	1,444	1,482	1,450	1,450	1,450
対象指標		ア t / 年	1,436	1,444	1,482	1,450	1,450	1,450
成果指標		ア %	100	100	100	100	100	100
		イ 千円	1,346	1,065	2,000	2,000	2,000	2,000
上位成果指標		ア %	88.7	91.3	90.0	90.0	90.0	90.0

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別とリサイクル等がスタートしたが、分別基準適合物を適正かつ安定的に再資源(商品)化するため、容リ協に委託する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により溝辺地区の分別基準適合物(紙類を除く)も容リ協ルートで再商品化されるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	分別基準適合物再商品化事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	分別基準適合物(資源ごみ)の再商品化業務が適正かつ安定的に行われており、資源ごみのリサイクル及び資源の有効活用等に寄与している。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	事務事業名	紙類中間処理・保管事業				所属部	生活環境部	
						所属課	環境衛生課	
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	西 剛
	施策名	0	3	循環型社会の形成			所属G(係)	廃棄物対策G
	基本事業名	0	1	リサイクル等の推進			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	容器包装リサイクル法
	一般	0	4	0	3	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区の一般家庭等から排出される紙類(資源ごみ)の中間処理・保管業務を民間業者に委託する。 ・国分、霧島、隼人、福山地区 山崎紙源センターへ搬入 ・溝辺地区 土佐屋リサイクルセンターへ搬入 横川、牧園については伊佐北始良環境管理組合へ搬入						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 9 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 19年度実績(19年度に行った主な活動) (取り扱い量) 山崎紙源センター: 1,892 t 土佐屋リサイクルセンター: 262 t 20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 国分、溝辺、霧島、隼人、福山地区から排出・回収される紙類 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的かつ適正に中間処理・保管が行われる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 紙類(資源ごみ)が適正に中間処理・保管され、リサイクル及び資源の有効活用が円滑に行われる。(基本事業の意図) ・適切に分別を行う。 ・リサイクルされる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 一般家庭等から排出・回収された紙類の量</td> <td>t / 年</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 排出・回収される紙類の量</td> <td>t / 年</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 中間処理された紙類の量 / 回収された紙類の量</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 益金(市の歳入)</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 一般家庭等から排出・回収された紙類の量	t / 年	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 排出・回収される紙類の量	t / 年	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 中間処理された紙類の量 / 回収された紙類の量	%	イ 益金(市の歳入)	千円	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 一般家庭等から排出・回収された紙類の量	t / 年																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 排出・回収される紙類の量	t / 年																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 中間処理された紙類の量 / 回収された紙類の量	%																																								
イ 益金(市の歳入)	千円																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 資源ごみの分別や資源物回収への協力を行っている市民の割合	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0			
活動指標	ア	t / 年	2,393	2,154	2,200	2,150	2,100	2,050
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	t / 年	2,393	2,154	2,200	2,150	2,100	2,050
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100
	イ	千円	17,408	18,289	17,800	17,500	17,000	16,800
	ウ							
上位成果指標	ア	%	88.7	91.3	90.0	90.0	90.0	90.0
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別・リサイクル等が開始され、民間業者に委託することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。平成19年4月に土佐屋リサイクルセンターが開所したことに伴い、溝辺地区分は平成19年度から当センターへ搬入することになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	紙類中間処理・保管事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷			
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	紙類(資源ごみ)の中間処理等が適正に行われることは、リサイクル及び資源の有効活用並びに循環型社会の形成に寄与している。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷			
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	一般廃棄物の適正処理、再資源化等は自治体(市)の責務であり、紙類(資源ごみ)のリサイクルや資源の有効活用が円滑に行われるという点からも妥当である。				
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷				
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	紙類(資源ごみ)の適正処理ということで、対象・意図ともに妥当である。				
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷			
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	紙類(資源ごみ)の中間処理・保管業務が適正かつ効率的に実施されており、リサイクル及び資源の有効活用に寄与している。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷			
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	容器リサイクル法に基づく資源ごみの適正処理・リサイクル等を推進する上で支障がある。				
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷				
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷				
類似事業もない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	随意契約による委託事業ではあるが、委託料を伴わないので削減余地はない。			
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷				
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	委託事業につき削減余地がない。				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷			
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	対象が資源ごみにつき、公平・公正であり、受益者負担の事務事業には該当しない。				

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	資源ごみの中間処理・保管業務が適正かつ効率的に行われており、資源ごみのリサイクル及び資源の有効活用等に寄与している。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.		事務事業名	特別清掃廃棄物運搬・処分支援事業	所 属 部	生活環境部
				所 属 課	環境衛生課
政策体系	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり	課 長 名	西 剛
	施策名	0 3	循環型社会の形成	所 属 G (係)	廃棄物対策 G
	基本事業名	0 2	廃棄物の適正処理の推進	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	特になし
	一般	0 4	0 3	0 2	70010	塵芥処理関連経費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
自治会等が道路、側溝、河川等のボランティア清掃(特別清掃)を実施する際に生じる廃棄物の運搬・処分を支援する。～運搬車輛の借上料及び草木等の処分費の助成。 1 国分地区 (借上料) 4トン車:13,000円、2トン車:10,000円、軽トラック:3,000円 ・ (処分費) 4トン車:6,000円、2トン車:3,000円、軽トラック:1,500円 2 隼人地区 (借上料) パッカ - 車:17,850円 3 溝辺地区 シルバ - 人材センター - に運搬・処理を年間委託。 【参考】霧島、福山、横川、牧園地区では、実施していない。(支援していない)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 50 年代 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
国分地区 134自治会 借上車台数 206台、処分台数 136台 隼人地区 100自治会 借上車台数 52 台		ア	支援(助成)した台数
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	特別清掃を実施した自治会数
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国分・隼人・溝辺地区の自治会 清掃活動により排出される廃棄物		名称	
国分・隼人・溝辺地区の自治会数 支援(助成)対象となった借上車台数		単位	
国分、隼人、溝辺地区の自治会数 支援(助成)した台数		ア	支援(助成)した自治会数
国分、隼人、溝辺地区の自治会数 支援(助成)した台数		イ	支援(助成)した台数
国分、隼人、溝辺地区の自治会数 支援(助成)した台数		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
草木、土砂等の運搬・処分が円滑に行われ、地域の衛生・景観が保たれる。		名称	
草木、土砂等の運搬・処分が円滑に行われ、地域の衛生・景観が保たれる。		単位	
草木、土砂等の運搬・処分が円滑に行われ、地域の衛生・景観が保たれる。		ア	支援(助成)した自治会数
草木、土砂等の運搬・処分が円滑に行われ、地域の衛生・景観が保たれる。		イ	支援(助成)した台数
草木、土砂等の運搬・処分が円滑に行われ、地域の衛生・景観が保たれる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
清掃時に出る草木・土砂等の廃棄物の運搬・処分が円滑に行われることで、自治会等のボランティア清掃活動がしやすくなり、地域の環境衛生・景観等が保たれる。(基本事業の意図) ・ごみの減量化と適正排出 ・適正に収集・運搬、処理される		名称	
清掃時に出る草木・土砂等の廃棄物の運搬・処分が円滑に行われることで、自治会等のボランティア清掃活動がしやすくなり、地域の環境衛生・景観等が保たれる。(基本事業の意図) ・ごみの減量化と適正排出 ・適正に収集・運搬、処理される		単位	
清掃時に出る草木・土砂等の廃棄物の運搬・処分が円滑に行われることで、自治会等のボランティア清掃活動がしやすくなり、地域の環境衛生・景観等が保たれる。(基本事業の意図) ・ごみの減量化と適正排出 ・適正に収集・運搬、処理される		ア	ごみの減量化等に取り組んでいる市民の割合
清掃時に出る草木・土砂等の廃棄物の運搬・処分が円滑に行われることで、自治会等のボランティア清掃活動がしやすくなり、地域の環境衛生・景観等が保たれる。(基本事業の意図) ・ごみの減量化と適正排出 ・適正に収集・運搬、処理される		イ	
清掃時に出る草木・土砂等の廃棄物の運搬・処分が円滑に行われることで、自治会等のボランティア清掃活動がしやすくなり、地域の環境衛生・景観等が保たれる。(基本事業の意図) ・ごみの減量化と適正排出 ・適正に収集・運搬、処理される		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,029	3,532	4,565		
	事業費計(A)	千円	4,029	3,532	4,565			
活動指標	ア	台	421	394	400	400	400	-
	イ	団体	248	234	210	210	210	-
	ウ							
対象指標	ア	団体	681	681	681	681	681	-
	イ	台	421	394	400	400	400	-
	ウ							
成果指標	ア	団体	248	234	280	210	681	-
	イ	台	421	394	400	400	400	-
	ウ							
上位成果指標	ア	%	69	78	72	74	76	78
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧国分市・旧隼人町において、自治会等が地域のボランティア清掃を実施した際に出るごみ(草木・土砂等)を処理するに当り、運搬手段や処分先の確保、処分料等の問題が発生したことから、ボランティア清掃活動を支援・解決することとした。開始は昭和50年頃と見込まれる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成13年4月から廃棄物の野放焼却(野焼き)が禁止されたことに伴い、当支援事業の申請件数が多くなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
自治会等から「清掃時(主に日曜日)に敷根清掃センターを開所(営業)してほしい」との要望が出ている。	

事務事業名	特別清掃廃棄物運搬・処分支援事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 清掃活動により自治会から排出される草木・土砂(ごみ)を収集運搬業務の支援をおこない環境衛生・景観等が保たれている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ また、市が自治会の運搬の支援をすることで草木・泥(ごみ)が適正に収集・運搬、処理される。一般廃棄物の処理は自治体(市)の責務であるため、自治会から出る草木、土砂(家庭系のごみ)を適正に収集を行うことは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 自治会が、道路、側溝、河川等をおこなうことで、地域の衛生・景観が保たれる。現在、国分・隼人・溝辺地区にて実施しているため、残りの霧島、福山、横川、牧園地区でも実施をして、市が自治会の運搬の支援をして、草木・泥(ごみ)が適正に収集・運搬、処理する必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 現在、実施方法が、各地区ごとに異なっているため、支援方法を調整して霧島市全域にて、各自治会に対して草木・泥の運搬を支援する必要がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 一般廃棄物の処理は自治体(市)の責務であるため、引き続き当事業をおこない適正に自治会から出る草木・泥(ごみ)のを収集運搬を支援する必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 地区活性化補助金、ふれあいボランティアの日補助金 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 地区活性化補助金(協働共生推進課)自治会2万円、ふれあいボランティアの日(市民運動推進室)自治会1万円等の調整は検討の余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現在各地区ごとにおこなっている自治会清掃を調整して自治会への支援方法を1つの制度として検討することが可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 委託事業の内容を変更して自治会への支援方法を検討することが可能である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 対象が、国分、隼人、溝辺地区の各自治会から出される草木・泥(ごみ)だけなので、一部の地区の受益者に偏った事務事業ではある。支援方法を検討の上、霧島市全域で事務事業をおこなう必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	自治会がボランティア清掃を行って出る草木・泥(一般廃棄物)の処理は自治体(市)の責務であるため、引き続き当事業にて自治会の支援をおこない適正に収集・運搬・処理する必要がある現在、この事務事業が一部地域のみで、実施されておりまた、実施方法も各地区ごとに異なるため制度を検討する必要がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 各地区ごとに実施している自治会への支援方法の検討。制度を検討した後自治会への支援をおこない各地区の衛生・景観を保つためにボランティア清掃の支援制度等の周知をおこなう必要もある。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 現在、地域清掃については、各地区の自治会ごとに実施方法が様々であるため平等に支援できる制度を調整することは困難と思われる。そこで、草木の運搬車両の確保が難しい自治会に対しての車両に対する補助等の制度の見直し。もしくは、共生協働推進課の地区活性化補助金事業との調整を検討する。

No.	事務事業名	不法投棄対策事業			所 属 部	生活環境部	
	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり			所 属 課	環境衛生課
	施策名	0 3	循環型社会の形成			課 長 名	西 剛
	基本事業名	0 3	廃棄物の適正処理の推進			所 属 G (係)	廃棄物対策 G
					電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	一般	0 4	0 3	0 2	70010	塵芥処理関連経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
不法投棄を未然に防止するため、環境パトロール、看板設置、その他啓発活動等を行うとともに不法投棄ごみの回収を行う。また、不法投棄(回収)された廃棄物のうち、市の廃棄物処理施設では処理が困難な廃棄物を民間の処分場等で適正に処理する。 牧園地区においては、国道223号線その他主要幹線道路の不法投棄ごみの回収を民間団体に委託している。また、霧島地区と牧園地区では、不法投棄ごみに関する情報提供を郵便局に委託している。 【参考】不法投棄等が多い国分と隼人地区では、環境保全協会予算でパトロール員を配置し(国分:2名、隼人:1名)、不法投棄等の防止や投棄ごみの回収・処理等、迅速に対応できる体制をとっている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 7 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)																																									
(1) 事務事業の目的と指標																																									
手段(主な活動)																																									
19年度実績(19年度に行った主な活動)																																									
事務事業概要と同じ																																									
20年度計画(20年度に計画している主な活動)																																									
前年度と同様																																									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等																																									
市民、不法投棄ごみ、処理困難廃棄物																																									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)																																									
不法投棄をしない。																																									
結果(どんな結果に結び付けるのか)																																									
不法投棄をしない・させないようにする。																																									
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情及び不法投棄等の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 回収した処理困難廃棄物</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 処理困難廃棄物の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情及び不法投棄等の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 苦情及び不法投棄等の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		名称	単位	ア 苦情及び不法投棄等の件数	件	イ 回収した処理困難廃棄物	件	ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 人口	人	イ 処理困難廃棄物の数	件	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 苦情及び不法投棄等の件数	件	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 苦情及び不法投棄等の件数	件	イ		ウ	
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情及び不法投棄等の件数	件																																								
イ 回収した処理困難廃棄物	件																																								
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 人口	人																																								
イ 処理困難廃棄物の数	件																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情及び不法投棄等の件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 苦情及び不法投棄等の件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,481	1,936	2,343		
事業費計(A)	千円	1,481	1,936	2,343				
活動指標	ア	件	164	166	155	150	140	130
	イ	件	261	219	200	195	190	185
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,871	128,128	128,383	128,640	128,868
	イ	件	261	219	200	195	190	185
	ウ							
成果指標	ア	件	164	166	155	150	140	130
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	件	164	166	155	150	140	130
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成13年4月の家電リサイクル法及び平成17年1月の自動車リサイクル法等の施行に伴い、廃家電・廃自動車等の適正処理及びリサイクル等が開始され、リサイクル料の負担義務が生じたことや市民の道義・モラル等の低下が要因と思われること等による廃棄物の不法投棄が行われるようになったため、不法投棄
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
不法投棄に対する罰則も強化されたが、特に国分地区においてごみのポイ捨て・たばこの投げ捨て等の不法投棄が目立つ。苦情及び不法投棄件数ともにほぼ横ばいで、大きな変化は無い。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
地域の自治会長や議員等から不法投棄の防止及びごみのポイ捨て禁止条例等の制定について、意見・要望が出ている。

事務事業名	不法投棄対策事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 不法投棄を未然に防止し、不法投棄をしないようにする対策を講じることは、環境保全・美化、ごみの適正処理、資源の有効活用等の推進に繋がるとともに、循環型社会の形成に寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 不法投棄の防止、不法投棄ごみの回収及び処理困難廃棄物の適正処分等に対するある程度公共関与は必要であり、妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 不法投棄防止対策ということで、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 環境・美化への関心やモラル・マナーの低下が要因と思われる不法投棄が相変わらず後を絶たない状況であるが、引き続き啓発活動や諸対策を推進し、事業効果を図っていきたい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 当事業を止めた場合、類は友を呼び不法投棄等が増大していくと考えられ、地域の美化や環境衛生の保全という観点からも支障があり、懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業もない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 不法投棄や苦情が相変わらず後を絶たない状況であり、引き続き啓発活動や諸対策を推進することにより、不法投棄等を防止し、事業効果を高める必要があるため、事業費削減は成果向上に支障が出ると懸念される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 各地区とも苦情や不法投棄等があるため、職員の対応は必要であるが、特に不法投棄等の多い国分・隼人地区においては、環境保全協会の監視・パトロール員の活用が引き続き必要と考えられる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 私有地等の不法投棄への対応については、所有者自ら防止策を講じるとともに、投棄ごみの回収・処分も自ら行うこととなり、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	若年者・単身者・自治会未加入者等が多く出入りも激しい国分地区において、不法投棄等を含め苦情等も多いので、特に重点的に諸対策を講じていく必要がある。また、関係機関・団体や地域自治会等との連携を更に深め、当事業効果を高めていく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 不法投棄は、環境・美化への関心やモラル・マナーの低下が主な要因と考えられるので、引き続き、道義高揚・マナーアップ等の啓発活動や環境パトロール等を行うとともに自治会や職場ぐるみの清掃・ボランティア活動による地域美化を推進し、不法投棄がしにくい環境整備も図っていきたい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし

No.	事務事業名	ごみ処理場管理運営事業				所属部	生活環境部			
						所属課	衛生施設課			
						課長名	前田 理			
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			所属G(係)	施設管理G		
	施策名	0	3	循環型社会の形成			電話番号	45-0070		
	基本事業名	0	4	廃棄物処理施設の整備・管理						
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	4	0	3	0	2	70020	敷根清掃センター管理費	霧島市敷根清掃センターの設置及び管理に関する条例、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民から出される燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみを処理、処分するためにごみ処理場(敷根清掃センター)の維持管理業務、運転業務を行う。 維持管理業務・・・機器類の定期的なメンテナンス、機器類の修繕、排ガス、ダイオキシン等の環境測定 運転業務・・・各設備の監視・制御業務、計量事務、有価物(プレス品)、飛灰固化物の運搬 休場日：日曜日、1月1日から1月3日、12月30日、12月31日 搬入時間：平日及び祝日は8時30分から正午まで及び午後1時から午後4時まで、土曜日は午前8時30分から正午まで ごみ処理手数料：10kgにつき60円(市民自ら清掃センターに搬入する場合は100kg以下は徴収しない。)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 15 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア:ごみの搬入量	t
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様。	イ:飛灰固化物の搬出量	t
ウ:			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	家庭系ごみ、事業系ごみ(ただし、牧園・横川地区を除く) 市民、事業者(ただし、牧園・横川地区を除く) 敷根清掃センター(施設、設備、機器等)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ごみが適正に処理される。 ごみを安心して出すことができる。	ア:ごみの搬入量	t
結果(どんな結果に結び付けるのか)	適正に、効果的にごみが処理される。 市民、事業者の生活環境の保全、公衆衛生の向上が図られる。	イ:処理人口	人
		ウ:ごみ処理系統数	系統
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア:ごみの処理量	t
		イ:ごみ処理に満足している人の割合	%
		ウ:不具合・トラブル件数	件
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア:市域外で埋め立て処分される一般廃棄物の割合	%
		イ:一般廃棄物処理施設的环境基準遵守率	%
		ウ:tあたりの一般廃棄物処理コスト	千円/t

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	664,072	669,144	957,673		
		事業費計(A)	千円	664,072	669,144	957,673		
活動指標	ア	t	34,960	36,820	37,000	37,000	37,000	37,000
	イ	t	1,946	2,007	2,000	2,000	2,000	2,000
	ウ							
対象指標	ア	t	34,960	36,820	37,000	37,000	37,000	37,000
	イ	人	112,999	113,975	114,072	114,500	114,500	114,500
	ウ	系統	3	3	3	3	3	3
成果指標	ア	t	34,960	36,820	37,000	37,000	37,000	37,000
	イ	%	未把握	未把握	-	-	-	-
	ウ	件	104	130	150	150	150	150
上位成果指標	ア	%	9.4	10.7	9.4	9.4	9.4	7.6
	イ	%	100	100	100	100	100	100
	ウ	千円/t	11	10.7	11	11	11	11

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成15年4月の敷根清掃センター稼働に伴い管理運営事業が開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い溝辺地区のごみ処理量の分が増大した。維持管理に関しては、年に2回1炉を止めてメンテナンスを行っていたが、同時に2炉稼働しないと処理できないことが多くなったため、メンテナンスにかけられる時間が短くなっている。また補償期間終了に伴う事業費の増加が見込まれる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議員等からメンテナンス費用が高いのではないかと意見がある。	

事務事業名	ごみ処理場管理運営事業	所属部	生活環境部	所属課	衛生施設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 清掃センターの管理運営をすることにより、ごみの適正処理に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の第6条の2第1項により、ごみ処理は自区域内での処理が定められているため妥当であり、民間にこのような施設はない。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は、清掃センター、ごみ、市民、事業者(牧園・横川地区を除く)であり、対象は限定すべきである。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ ごみ処理は適正に行われているが、ごみのリサイクル、減量化が進み、施設の不具合、トラブル等の件数が減れば、成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事業を廃止・休止することは、適切なごみ処理ができなくなり、生活環境への悪化につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市内には類似事業はない。現状では他の手段は考えられない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ ごみのリサイクルが進み、減量化が進めば、燃料費、光熱費、消耗品を削減することは可能であると思われる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ ごみの量は人口増とともに増加傾向にあり、現行の当施設への搬入時間を変えない限り業務時間の削減は難しい。リサイクルプラザは特殊な技能を持った現業職員が行っているため、臨時職員、外部委託は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 区域内のほぼ全世帯(市民)がごみを出していることから、受益機会・費用負担は適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民生活にとってごみを適正に処理することが清潔な生活環境の確保に結びつくと、なくてはならない業務である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																													
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上							維持							低下						
	コスト																													
	削減	維持	増加																											
向上																														
維持																														
低下																														
<改革改善案> ・ガス化熔融炉はごみ質により、燃料費等の増減につながるため、厨芥ごみの分別排出、あるいは生ごみ等の水切り等の徹底を図りたい。 ・尿汚泥の全量を陸上処理するため、脱水汚泥の清掃センターへの搬入はH19年9月まで行われていた。循環型社会の構築のためにも堆肥化施設での処理を継続したい。 ・メンテナンス等を常に行い、施設の不具合、トラブル等の件数を減らすことにより、さらなる成果の向上を目指す。																														

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・ごみ分別排出の徹底を図ってほしい。(要望) ・民間による堆肥化施設への脱水汚泥の投入を検討したい。 ・今後、機器類の経年劣化による取替えなどが増えることが懸念されるので、それに伴う費用が増大することが課題である。 解決策としては、メンテナンスに基づく寿命診断や修繕と取替えの費用対効果の比較検討を行う必要がある。また温暖化対策としてインバーター機器等の省エネ機器等の導入を検討する必要がある。

No.	事務事業名	安定型最終処分場管理運営事業			所属部	生活環境部	
					所属課	衛生施設課	
政策体系	政策名	02	自然にやさしいまちづくり			課長名	前田 理
	施策名	03	循環型社会の形成			所属G(係)	施設管理G
	基本事業名	04	廃棄物処理施設の整備・管理			電話番号	45-0070

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	霧島市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例
	一般	04	03	02	70025	一般廃棄物最終処分場管理費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
市民から持ち込まれた安定型不燃物の処分場の管理を行う。 受付 搬入物の確認 廃棄場所への案内 投入手数料は無料							<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
処分場名 受付方法 開場日 利用できる時間							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50 年度 ~)		
国分芦谷	2:車で運ぶ場合、軽トラで3回以上運ぶ場合利用許可書が必要	12月31日～1月3日を除く日		月曜日～土曜日8:30～16:30、日曜日(祝祭日を含む)8:00～15:00			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)		
瀨間利	現場での受付のみ(投入届出済証)	火・木・土を除く日(12月30日～1月3日まで休場)		8:30～17:00					
横川城山	現場での受付のみ	毎週日曜日(12月29日～1月3日を除く)		9:00～16:00					
牧園城山	利用許可証が必要	毎週日曜日(12月29日～1月3日を除く)		9:00～16:30					
隼人系走	利用許可証が必要	毎週水曜日および12月31日～1月3日を除く日		8:30～16:30					
福山宝瀬	利用許可証が必要	第1・第3水曜日及び毎週日曜日(12月29日～1月3日まで休場)		8:30～16:00					

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
19年度実績(19年度に行った主な活動)					名称				
事務事業の概要と同様。					単位				
20年度計画(20年度に計画している主な活動)					ア 搬入台数				
前年度と同様。					台				
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					イ 不燃物の搬入量				
安定型最終処分場					kg				
市民					ウ				
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					対象指標(対象の大きさを表す指標)				
不燃物が適正に処分される。					名称				
不燃物を安心して出すことができる。					ア 埋立容量				
					m				
					イ 処理人口				
					人				
					ウ				
結果(どんな結果に結び付けるのか)					成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
適正に不燃物が処分される。					名称				
生活環境が保たれる。					ア 埋立処分量				
					kg				
					イ 不燃物を出すことに満足している人の割合				
					%				
					ウ				
					上位成果指標(結果の達成度を表す指標)				
					名称				
					ア 市域外で埋め立て処分される一般廃棄物の割合				
					%				
					イ 一般廃棄物処理施設の環境基準遵守率				
					%				
					ウ 1tあたりの一般廃棄物処理コスト				
					千円/t				

(2) 総事業費・指標等の推移									
		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	14,959	10,040	8,361			
		事業費計(A)	千円	14,959	10,040	8,361			
活動指標	ア	台	未把握	3,773	3,773	-	-	-	
	イ	kg	未把握	1,200,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	ウ								
対象指標	ア	m ³	306,794	306,794	306,794	306,794	306,794	306,794	
	イ	人	127,615	127,871	128,128	128,383	128,640	128,868	
	ウ								
成果指標	ア	kg	未把握	未把握	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	イ	%	未把握	未把握	未把握	-	-	-	
	ウ								
上位成果指標	ア	%	9.4	10.7	9.4	9.4	9.4	7.6	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	
	ウ	千円/t	11	10.7	11	11	11	11	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
国分芦谷不燃物処分場(S50~)、瀨間利最終処分場(S60~)、横川城山不燃物処分場(S55~)、牧園城山不燃物処分場(S59~)、隼人系走不燃物処分場(S57~)、福山宝瀬不燃物処分場(S53~)それぞれ管理運営が開始された。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
平成17年4月より霧島永水不燃物処理場は使用中止。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
特になし。									

事務事業名	安定型最終処分場管理運営事業	所属部	生活環境部	所属課	衛生施設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	住民が搬出する安定型不燃物を適正に処分するため、安定型最終処分場の管理運営を行うことが、廃棄物処理施設の整備・管理に結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の第6条の2第1項により、ごみ処理は自区域内での処理が定められているため妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は市民、安定型最終処分場であり、一般廃棄物の自区域内処理の原則により限定すべきである。
効率性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	搬入される安定型不燃物を適正に埋立処分しており、向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	事業を廃止・休止すると、安定型不燃物が適正に処分できなくなり、生活環境の悪化につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内には類似事業はない。現状では他の手段は考えられない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	6箇所ある安定型最終処分場の開場日数、開場時間等を見直すことにより、事業費の削減は可能であると思われる。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	6箇所ある安定型最終処分場の開場日数、開場時間等を見直すことにより、事業費の削減は可能であると思われる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	一部の受益者に偏っていると思われるので、受益者負担は公平・公正でないと思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民生活にとって安定型不燃物を適正に処分することが清潔な生活環境の確保に結びつくので、なくてはならない業務である。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	
<改革改善案> 各安定型最終処分場の搬入日、搬入台数を精査し、開場日数、開場時間等が適正か検討していきたい。																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開場日数、開場時間等について住民の理解が必要であり、変更する場合は早めの広報が必要。																		